

事業番号	09 04 05	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

1 現状と課題

本県の水産業は内水面養殖業と河川湖沼漁業からなる。内水面養殖業では、信州サーモンをはじめとする信州ブランド魚の生産が行われているが、小規模事業者が多く、経営の安定が求められる。河川湖沼漁業では、組合員の高齢化と担い手不足の進展に伴う組合の減収により増殖放流量が少なくなっており、遊漁者減少の一因となっている。

2 事業目的

本県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼における自然生態系の生産力を生かした水産資源の増殖や、特徴ある漁場づくりなどにより活力ある漁協経営を実現するとともに、消費者や実需者から求められる魚づくりで儲かる養殖業の実現をめざす。

3 事業目的を達成するための取組

①信州サーモン、信州大王イワナのブランド化に向けた種苗生産・供給

- ・審査者のニーズに応えブランド化を図るため、信州サーモンと信州太王イワナの稚魚を生産し、県内養殖業者に安定供給を実施

②諏訪湖におけるワカサギ等有用水産資源の増殖技術の開発

- ・ワカサギの採卵量を安定させ、資源の増殖を図るため、湖内で捕獲した親魚を用いた新たな増殖技術を開発
 - ・テナガエビの種苗の大量生産技術を開発するとともに、諏訪湖に適した資源管理方法の確立に向けた調査を

③外来魚等の食害防止に対する支援

- ・ブラックバス等外来魚やカワウによる魚の食害を防ぐため、漁業協同組合が行う駆除や追い払い等の取組を支援

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし =: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①	信州ブランド魚の生産量	t	350	390 ↗		450 ↗			485	△	第4期長野県食と農業振興計画におけるおける達成指標（令和3年度：357t→令和9年度：485t）に基づき、4年目である令和8年度は485tを目標とする。
②	諏訪湖におけるワカサギ等の増殖技術研究課題数	課題	4	4 →		4 →			4	△	農業技術ステップアッププログラムの短期（R5～9年度）課題のうち、R8年度における取組課題数を目標とする。
③	外来魚の駆除尾数	尾	75,271	82,676 ↗	45,000 ↘				48,800	△	R4年度駆除実績（尾数）の5%増を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

(单位：千円、人)

区分		予算額				決算額	職員数
R8年度	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
	予算案	111,110		111,110	63,631		29.5
	要求	111,467		111,467	63,988		
R7年度		0	117,554	0	117,554	70,877	29.5
R6年度		1,726	112,790	0	114,516	67,307	108,712
要求からの 主な変更点		水産試験場運営費について公用車点検費用の積算を精査し減額					

事業番号	09 04 05	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	水産試験場種苗開発費	31,654 千円	39,282 千円	予算案 32,424 要求 32,424 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ニジマス種苗供給 在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	養殖魚の品質向上及びブランド魚普及のための種苗供給を実施 信州サーモン 42万尾 信州大王イワナ 7.0万尾 ニジマス 卵175万粒 イワナ 3万尾、卵 2万粒	
2	アユの種苗供給	直接	河川での水産資源増大及び養殖魚の品質向上のための種苗供給を実施 アユ 43万尾	
3	シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	河川での水産資源増大及び養殖魚の品質向上のための種苗供給を実施 シナノユキマス 87万尾 フナ 0.8t ウゲイ 20万尾、卵75万粒	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	水産試験場試験研究費	16,220 千円	16,169 千円	予算案 17,326 要求 17,326 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	増養殖技術の改良・確立	直接	増養殖技術の高度化のための魚病対策、資源管理技術の開発研究を実施 取り組む研究課題数 6 件	
2	市場性の高い品種の開発	直接	品質の良い養殖魚を生産するための優良品種の開発を実施 取り組む研究課題数 2 件	
3	水産環境の保全	直接	水産資源の保護培養のための環境保全対策研究を実施 取り組む研究課題数 2 件	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	水産試験場技術指導費	4,041 千円	4,090 千円	予算案 4,162 要求 4,162 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	養殖漁業指導	直接	養殖業の発展を図るため、魚病診断・魚病対策など安全・安心な魚づくりに関する技術指導及び養魚場巡回指導の実施。また養魚技術講習会を開催。 指導件数650件、講習会 1 回	
2	河川湖沼漁業指導	直接	河川湖沼漁業の発展を図るため、外来魚対策など環境保全指導や、増殖手法の普及及び漁場管理の指導を実施 指導件数350件	
3	寒天製造技術指導	直接	良質な天然寒天の安定生産を図るため、藻の性状分析、製品等の依頼分析を実施 寒天依頼分析件数350件	

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	水産試験場運営費		57,479 千円	54,724 千円	予算案 53,807 要求 54,164 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	水産試験場の円滑な運営	直接	水産試験場の円滑な運営・管理を実施 県内4試験場・試験地の運営		

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	外来魚等食害防止対策事業		1,513 千円	1,496 千円	予算案 1,498 要求 1,498 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策事業の推進に係る事務を実施 打ち合わせ会議1回		
2	外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚等による漁業被害防止のため、それらの駆除及び食害防止に要する経費補助（補助先：漁協等）を実施 外来魚対策6団体、カワウ対策7団体、ミンク対策1団体		

細事業No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	漁業指導事業		1,813 千円	1,793 千円	予算案 1,893 要求 1,893 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	内水面漁場管理委員会の運営	直接	漁業法に基づき設置が義務付けられた委員会で、知事の諮問事項等を協議 委員会3回		
2	組合検査指導事業	直接	健全な漁協運営を図るため、漁業協同組合の業務及び会計状況の検査を実施 会計状況の検査30漁協		
3	漁場利用調整事業	直接	円滑な漁業調整を図るため、漁業権者の申出に基づく協議会を開催 内水面漁業振興法による協議会1回		